

五輪会研修レポート 4月21・22日

一期生の会の『五輪会』メンバー5名も2年目に入り、研鑽を積む為東に西に飛び回っています。4月の五輪会の研修について、以下の通り報告させていただきます。

農業分野での特例子会社制度の活用（障害者雇用）

〜〜 浜松 京丸園 鈴木厚志氏の挑戦！ 〜



今東海各地に広がっている『園芸福祉』について視察。この取組みは福祉や医療の分野でも取り入れられ、高齢者や障害者の社会参加や社会復帰の支援にも大きく貢献している。

浜松市の京丸園(株)では、14人の障害者を雇い、水耕でミツバやミニチンゲンサイなどを栽培、10年になる。障害者週間の集いで内閣総理大臣表彰を受けた。

『農業には多様な人を受け止められるふところの深さがある。人との共生を大事に…』と語る鈴木厚志氏。
(右から二人目)



世界をリードする光技術開発

〜〜 浜松ホトニクス中央研究所 〜



『最新光技術で人類未踏の世界に挑む』浜松ホトニクス研究所を視察。TVを発明した高柳氏の創設した会社。

自らの方向付けをするための「新しい知識」を生み出す研究に力を注ぐ。

光の本質や光と物質の相互作用など未解明の分野の基礎研究を行い、常に10年20年先を視て研究開発している点に感銘を受けた。

案内をして下さった吉田室長と説明を受ける五輪会メンバー

